

「計算論における素粒子」

Elementary particles in theory of computation

石原 哉

先端科学技術研究科 情報科学系

2016

12/8(木) 12:40 – 13:20

会場：ラーニング・コモンズ「J-BEANS」



計算可能性の概念は、1930年代にチャーチ、ゲーデル、チューリングらによって独立に定義された。その後、これらの独立に定義された概念は同値であることが示され、その後数学的対象（関数など）は計算可能なものと計算不可能なものに分類され多くの様々な研究が続いている。

このセミナーでは、シェーンフィールドにより与えられカリーにより発展された組合せ子論理を用いて計算可能性の概念を与える。組合せ子論理では、2つ（あるいは3つ）の組合せ子ですべての計算可能な関数が定義できることを概観する。

The slides are written in English. Foreign audience is welcome!

ラーニング・コモンズJ-BEANSは、大学会館1階です。
J-BEANS is located on the 1F, Institute Hall.

J-BEANSセミナーは、JAISTで行われている研究の知識共有を目指しています。専門家以外も楽しめるセミナーを行いますので、ぜひ講師以外の学系の方もご来聴下さい。

担当教員：情報科学系 教授 鵜木祐史

